

教育長退任のごあいさつ



まきの 信幸
のぶゆき
(前教育長)

私は、4月30日をもって、任期満了により教育長の職を退任することとなりました。平成25年の就任以来、7年間の任期を全うできましたのも、

多くの皆さまに支えていただいたおかげであり、心から厚く感謝申し上げます。任期中には、教育委員会の制度改革もあつた中、出雲の未来を切り拓く子どもたちを育成するため、全力で取り組むことができました。

今後の出雲市及び出雲市教育行政の益々の充実、発展を祈念いたしまして、退任のごあいさつとさせていただきます。ありがとうございます。

新教育長の紹介



すぎたに まなぶ
杉谷 学 (59歳)

就任日／令和2年5月1日

職歴

- 昭和59年4月 島根県公立学校教員 採用
- 平成14年4月 島根県教育庁出雲教育事務所 社会教育主事
- 平成18年4月 島根県教育庁出雲教育事務所 指導主事
- 平成23年4月 島根県教育庁出雲教育事務所 企画幹
- 平成25年4月 雲南市立田井小学校 校長
- 平成27年4月 出雲市教育委員会 教育部長
- 平成30年4月 出雲市立塩冶小学校 校長
- 令和2年5月 出雲市教育委員会 教育長

えがおになあれ

74

子どもたちが明るく元気に育つのを
見ると、未来に希望を感じます。
毎日を心豊かに過ごし、子どもも大人も、「えがおになあれ」…そんな願いを
込めて、このコーナーを設けました。
(出雲市要保護児童対策地域協議会)

子ども達の「自己有用感」を 育みましょう

「この世の最大の不幸は、貧しさや病ではありません。誰からも自分が必要とされていない、と感じることです。」これは、ノーベル平和賞を受賞したマザー・テレサの言葉です。人は、誰かに必要とされることで幸せを感じられるのでしよう。

さて、文部科学省国立教育政策研究所は、「生徒指導リーフ Leaf.18」という冊子で、「自己有用感」について紹介しています。これに似た語に、「自尊心」があります。自尊心が、例えば、「クラスで一番足が速い」といった、単に自分ひとりでも得ることができ、他の誰かに対して、自己有用感、「誰かの役に立った、誰かに喜んでもらえた」など、他者からの評価を

強く感じることで得られるものという点で異なります。誰かに認められることで得た自信は、持続しやすいとも言われています。

子どもたちの自己有用感を育むため、保護者をはじめ、まわりの大人たちから感謝の言葉を伝えてみましょう。その際に参考になるのが、「I(アイ) (私)メッセージ」です。「私」を主語にして思いを語ることで、相手に伝わりやすくなります。例えば、「あなたが手伝ってくれたから、私はすごく助かったわ。」という感じですよ。

子どもたちの顔を見て、笑顔でIメッセージを贈れば、子どもたちの心にきつと届きます。Iメッセージは、子どもたちはもちろん、大人同士でも贈り合いたいものです。



(執筆…出雲市教育委員会
児童生徒支援課)

おたずね／子ども政策課
子ども家庭相談室 ☎6604